



第 27 回 例会 報告 (2月6日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	53名	・出席数	33名	・欠席数	20名
・当日出席率	64.00%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員>阿部、原、平尾、平田、廣川、城山、小堀、久米、楠橋、眞鍋、見乗、宮道、大澤、岡田、岡本、坂本、八木(真)、八木(伸)
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)
 <1/23 欠席補填>(1/21 今治南) 合田、藤田、板脇、木村、桑森、見乗、渡辺、八木(真)、八木(正)、吉田、吉武
 (1/22 東京) 近藤、岡本 (1/27 高松北) 片山、眞鍋 (2/3 今治北) 平田、廣川、宮道、坂本

◇**会長報告**・例会終了後ロータリークラブ事務局にて、2月定例理事会を開催しました。

◇**幹事報告**・ロータリー手帳購入ご希望の方は事務局へご連絡ください。
・2月13日(木)例会は休会です。次回例会は2月20日(木)です。

ロータリー情報委員会アワー

◆**村上修三氏**：「例会とは心の研鑽場所だ。道場だ。」と先輩会員から言われてきたが、漠然としているので自分の経験から、「ロータリーで何を得たか」を話した。ライラの募集回覧をみて気づいたのだが、ロータリーの求めているのは若くリーダーとなる人ばかりでなく現役ロータリアンもリーダーシップを求めているのではないかと。ロータリーの考え方は、リーダーによって、会社やチーム、社会が変わるトップダウンの考え方のように思う。▼私の父は戦争中、高射砲隊に所属。中隊長水野大尉は5の能力の人には6で褒め、10の能力の人には7・8達成しても叱ったという。戦争という究極の中では全員に限界まで力を出すことを求めた。あまり細かいことは言わず、現状を把握し、何が問題かを示し、目標や方法を具体的に語り、兵隊の指導は下士官に任せていた。用意した弾丸千発を打ち尽くしたとき、戦果はB29を10機撃墜、帰還不能の撃破17機、成績日本一で軍総司令部から表彰されたそうだ。その後、着任された朝井大尉は若くて学歴も素晴らしい人であったが、兵隊は同じなのに成績はあがらなかった。▼ストリートスマートとブックスマートの違いの例として、水野大尉がノモンハンで軍司令部が退却の命令があったにもかかわらず、「間に合いません」と返事。高射砲を水平射撃してソ連軍戦車隊に大打撃を与えた話をし、世の中には正解は一つではないことを証明してみせ、リーダーの考え方がいかに重要かを語った。▼また、自分が幹事の大役を仰せつかり悩んでいたところ父親から「会長が機関車のような人なら前が出るな。ぐずぐずする人なら後ろから押せ。いちゃもんばかりなら2者択一の選択を迫れ」とアドバイスを受けた。人の見極めや、状況によって自分がどう対応したらよいか、どうすべきかを考える一つの基準であったように思う。▼各委員長や会長など経験していく中で、「自分はどうなりたいのか。どういうタイプなのか。どうすべきなのか。」考え気づかされることこそロータリーの醍醐味ではないか。それを一言では言い表せないからこそ「例会は人生の道場だ。とにかく例会出席だ。」という表現となったのではないかと締めくくった。



次回例会 (2月20日)

【 IM報告 】

<配偶者誕生祝> 平尾 浩一郎氏 (2/25)

[笹]